

定 一 部 金 貳 錢
 廣 告 五 錢 十 三
 字 體 五 錢 十 三
 刊 休 日 禮 大 祭
 日 祝 日 聖
 福 島 縣 石 城 郡 平 町 長 橋 町 三 五
 發 行 所 常 磐 毎 日 新 報 社
 電 話 六 三 〇 番



日 刊 一 發 行 兼 編 輯 人 川 崎 文 治
 本 社 內 電 話 六 三 〇 番
 印 刷 所 常 磐 毎 日 印 刷 所

刊 夕 日 十 月 五

現代相を惜む

（一） 岳城 迂人

アメリカを中心としてジャズ音楽が世界的に流行してゐるが、これが即ち現代の相だと云はれてゐる。多少考へる人ならば何人とも、この樂調が如何にも低劣であり、無意味であることを厭はないものはないのであるが、而もこれが世界的に流行する現代相は不思議な現象と云はなければならぬ。何處からかうした流行が起つて来たか、自らその原因のあることは問ふまでもないことであるが、しかし今自分はその原因を

探ねて、それを論じようとするものではない、たゞ如何にもこの種の音楽を耳にするとき、嫌な感じを催はすことを、感情的に考へるものだ云へばよいのである。古人が耳に鄭聲を聴かすといつたのは、聴て我々が今日のジャズに對して感ずる心持と同一なものであらうかと思ふが、我々は道德的にこの意味を批判して云ふといふより、自らなる情緒の上に、あの騒がしい、床かしさを缺いた、無理想な無定見な、無趣見な音楽を欲しないのである、我々はこの種の音楽を欲しないと同時に、この種の音楽に似通つたすべての社會現象に不愉快な感じを持つものであるが、現代の世相はひとり音楽の方面にこの種の

のが跳梁跋扈するばかりでなく、あらゆる方面にジャズ式の低劣な、無理想な、不定見な、無趣味なものが跳梁跋扈して、ともすれば大衆がその渦巻の中に捲き込まれつゝある状態を見る毎に、場合によつては世紀末の淋しい感じを思はせられるのである、而もこの潮がだん／＼手近に我が日本にも襲ひ來つて、種々の興行物の上に取り入れられるのみでなく、一般の思想の上にも浸潤する傾向をもち更に國民の實際生活の上にも波及しようとするものゝ現はれを見るとき、實に堪えられない氣持を感ずるのである。

いづれの時代にも輕薄な流れは古來絶無になつた時はない、純朴な山間壁地に於ても偶々嘔吐を催はすべき輕薄な空氣の漂ふことは必ずしも珍らしいことではない、我が日本に於ても時代の長い推移の中には厭ふべき輕薄な詭激な現象を以て彩られた過去が無いではない、今日改めてジャズの流行襲來に腰をぬかして喫驚するほど、我々は社會の歴史の迂闊ではないつもりである。

指環 時計 常盤屋

平電三三九

美味で 田町 評判の 電話三五二番

各種 体溫計 胃内藥局 健胃ビスマツト散 小野常治謹製

祝 貴 紙 擴 張

五月のほりと 鯉の吹流し

毎度御引立の 三國屋特製

海陸物産問屋 吉高野虎二郎 本町通り三丁目南側 電話七三五番

磐城炭礦 最優等炭

- ◎石炭 正味 十貫目 一俵 金六十錢
- ◎石炭 正味 十貫目 一俵 金六十錢
- ◎コークス 一俵 金一圓二十錢
- ◎玉炭 一箱 金貳圓也

石炭は日方の正確を期する爲め正確な貫目を一俵の標準と定めました

◇配達迅速 (電話二二七番)

磐城炭礦販賣總代理店

阿部石炭商店

看護婦至急募集 (但し有資格者)

吉田眼科病院

平紺屋町、電話六八番



靈界の明星

矢作女史來る！

- ◎日本精神醫師會地方理事
- ◎矢作式靈感法創始者

矢作式靈感術の特徴

打診聽診又は目覺症狀を問はず只單に術者の靈感のみにて診斷す現代の科學に依つて不治病と言はれし難病も最も短期間の治療に依つて治り特然し現代の醫學を無視するものにあらず生理解剖を基礎として靈力應用に依つて治療する最も合理的の術なり

治療研究會 費

治療場所 平町三丁目山本屋旅館方 ▲治療會費 初回金五圓次回ヨリ金三圓也
 ▲期 日 五月十日ヨリ十四日マデ五日間 午前八時ヨリ午後四時マデ

家調立候補届出

本日正午迄に

住所	職業	氏名
材木町	材木商	榎田榮太郎(六一)
紺屋町	米穀商	馬目玉彌(五五)
新川町	材木商	長小次郎(六三)
番匠町	貸家業	堀江正茂(四八)
田町	自動車業	野崎滿藏(五〇)
搔槌小路	請負業	前澤文太郎(五五)
鎌田町	無職	鈴木光吉(五八)
八幡小路	貸家業	鍋田三重(六六)
南町	綿布商	齋藤寅吉(六五)
久保町	醸造業	會川延太郎(五〇)
立町	湯屋業	荒木忠夫(四七)
白銀町	家具商	荒川淺次郎(四七)
白銀町	裁縫商	松永友太郎(四三)
研町	製綿業	吉村安次郎(四三)
田町	藝者屋	鈴木重助(五九)

今晚から明朝迄

家調選挙大激戦

定員から二三名超過か

選挙立會人決定

平町家屋税調査委員選挙は、愈よ明日となつたが本日正午迄に平署に届出たのは別項の如くにて定員通り十五名があるが、此外井上茂作氏外二三が立候補を爲す形勢があるから結局定員よりは二三名を超過する見込みにて表面的に猛烈な運動は各候補者遠慮して居る模様であるが、内面的な競争は仲々激烈なものあり、今晚から明朝にかけての運動は相當物

部副官砲兵大尉高崎秀夫氏(警中出身)は展墓の爲め歸郷の途に着き昨夜東京に着いたが一兩日中歸平の豫定である

鮮魚取引所の認可は有望らしい

認可は有望らしい

縣への陳情から歸つた

鈴木組合長語る

既報縣より取引停止指令に接した白銀町鮮魚商組合長鈴木又六氏は直ちに出縣し組合の死活問題として認可に關し種々陳情する處があり昨日歸平したが認可は有望

麥作況は平年作

石城農試分場の報告

縣農事試験場石城分場の立夏當日に於ける麥作況は九日郡に報告あつたそれによると春分三月二十一日(當日より天候例年に比し温暖にしてかつ雨量多かつた爲め草だけは例年に比し伸長甚だしきも分蘖悪く特に晩

電話を掛けた

釣銭詐欺の失敗

祥天は鶴屋でも

着て居たは巡査

昨夜午後七時半頃平町四丁目鶴屋洋品店へ自分は鐵道官舎の渡邊といふものだが家分りにくい故五丁目釜屋商店向の官舎入口に待つて居るから極上等のハンカチ一打とミツワ石鹸二箱を持

記の場所にて其男を逮捕したが右の者は中町二丁目蒲鉾商藤市事達藤市松方雇人石城郡神谷村生れ鈴木幸一(三)といふ不良少年で遊興するの金がないので右のやうな釣銭詐欺を働かうとしたものである

見事全勝

平署の選士

既報本縣第十回警察官武道(劍道)大會は本日午前八時より福島市紅葉山武徳殿に於て開催されたが平署より出場した選手五名は第一回戦に見事全勝した試合の番組左の如し

- 佐藤(平署) 榎子(保原署)
- 若林(同) 有田(梁川署)
- 佐久間(同) 鈴木(坂署)
- 鈴木(同) 天野(猪苗代署)
- 小手森(同) 柳谷(上村署)

一つ抱へて

娘が家出

田村郡移村農宗像清蔵二女サク(三)は去る三日午後四時頃友達の家へ行くといふ

長さ十二間の大鯨

小名濱沖合で捕獲

石城郡小名濱町東洋捕鯨會社では昨日午後二時頃小名濱沖合で大鯨を捕獲したが會社創立以来の大鯨で長さ十二間、目方一萬貫あり海岸に引上げやうとした際直經一寸のロツプが切れる等一時は大騒ぎを演じた

常磐片々

家調選挙候補届出案外に少く有権者張合抜けの態人爲的の協定破れたが自然の協定成る、時世時節は争ひぬものか

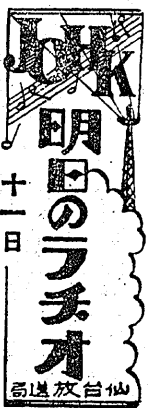
磐女三學年の修學旅行便り

(第一信) 朝霧のまだ晴れ切らない漢中平を離れ蒼たる關東平野を西へ下つて日光へ着ました日光から馬返まで電車にゆられ徒歩で大谷川の急流に浴うて、つら思ひでしかし元氣に羊腸たる坂路を登りました、華嚴の瀧は思つたより水量多く莊嚴美を表してあました、禪寺湖畔に辿り着きました入日を全身に浴びて暮れ行く男體山の湖面に寫る影は又一入の眺めでした四時半宿に着きゆつたり

家屋税調査委員候補者として

推堀 正茂君を
推薦者 佐々木龍若

平町字四軒町十八



明日のラジオ 十一日 風暴雨明日は西寄りの風曇り時々晴れた

△前九・三〇 子供の時間... △後七・二五 「長唄の夕」... △後九・四〇 時報 氣象

連續國際講座

我國の關稅

上田貞次郎

私の講演は二段に分けて申し上げる心組であります。即ち第一段に關稅の性質を簡單に説明して此の問題に對する國際聯盟の態度に論及し、次に第二段に入つて我國の關稅の沿革並に現状を述べて多少の批判を下して見たいと思ひます。

生活上

頗る重大な關係のあるに拘らず随分まぢがつた見方をする人が多しと思ひます。外國品を排斥して自國の産業を助けるといへば大層國産獎勵になつてよいやうであります。その實非常に重い負擔を國民一般に負はせることになつて、若し

關稅を

かけずにおけば何品でも國際市場において一番安く賣出し得る處の國から其品物が入つて來ますから物價が安くなり生活費が安くなりますが、關稅をかければそれが高くなることは申すまでもありません。そこで國內の同種の産業は此高くされた相場で品物を賣ることが出来るに

作用は

其品を買ふ人に對し特別高い代價を拂はせて之を生産者たる事業家に補助金として與へることには外ならぬのであります。それ故に例へば現在我國で一千五百萬圓の關稅を説く政府に一億五千萬圓の收入を生じつゝあります。着實國民の懐から出て品物の代價の内にて生産者に支拂はれる金は幾億圓かになります。此事を考へると關稅問題の

意義は

實に重大であります。そこで日本自ら如何なる關稅政策を取つてゐるか申しますとやは

自給自給せんとすれば非常な無理が出来て國民の負擔が甚しく重くなることは當然であります。何うしても外國産の安い食料原料を入れて生活費を安くして日本の特産物の輸出を盛にしなければ之からさき國民生活の安定を計ることとは出来ないと思はれます。重税を掛けて外國品を排斥すれば、貧窮なる日本の資源を以つてしても自給

代價を

拂はねばなりません。此上保護關稅を増して負擔を増すことは頗る考へ物です。だから特別重大な理由のある場合は別として大方針は是非とも自由通商と決定し日本の食糧原料問題を國際的に解決しなければならぬと考へるのであります。

惡魔と三人兄弟

トルストイ 人形座

序幕

イワンは辛抱強い眞面目な青年で軍人になりたいたいと商人になりたいたいと兄が家を出た後はお父さんお母さん大事に毎日田畑へ出て仕事に精出して居ました。軍人になつた兄のセミヨンと商人になつたタラスがお金の無心に歸つて來ます。お父さんはあきれ金を出せないと叫びます。セミヨンはお父さんにそんなことを云はないでいくらでもお金を上げて下さいと言つて久し振り親子兄弟が一緒に飯を食つた。お父さんはお母さんと一緒に飯を食つた。お父さんは自分でお金を分けて渡しました。

第一場

惡魔の森の王様が三人の子分に言ひつけてイワンの家へ來た。一人の子分はセミヨンを連れて來た。一人の子分はタラスを連れて來た。一人の子分はイワンを連れて來た。三人の子分は交る／＼イワンを苦しめようとしました。イワンが負けました。三人共降参してしまひ一人は樂になる木を教へ、一人は薬が兵隊になるまじないを教へ一人はボブラの葉がお金になる法を教へて命を助けて貰つて逃げました。それからセミヨンとタラスがイワンに智恵

第二場

を亂暴者にして戦争を起させた上敗北させました。一人の子分はタラスを懲罰者にして商売に失敗させ借金で澤山背負せました。一人の子分はイワンを病氣させて働かせまいとしました。イワンは腹が痛んでも辛棒で働かせる時其紳士がイワンの働いて居る處へ瓢然現はれて王様のやうに手で働かないで私は頭で働くと云ふのでそれなら頭で働いて見なさいと云はれて紳士は頭で働いた。塔から落ちました。此紳士は惡魔だつたかといふに勝つてないのだと言ひました。それからセミヨンとタラスが歸つて來たのでイワンは兄弟が仲よくしてお父さんお母さんにかへませうと今後は國中のものをお呼び集めてお祝ひをさせようと言ふところ(幕)



出前迅速
錦水
田所末彦隣り
錦水
電話一四〇番

帽子!!

皆様の御氣に召す
モダンな型
スマーとな色合

中鳥折 子供帽

可愛らしいお子様方のために
明るい初夏の帽子
平町四丁目

ツルヤ

電話一四〇番

内臓外科 醫學博士 藤本 順
整形外科 院長 木村寅次郎
婦人科 院長 木村寅次郎

平町新川町
電話一六四番

木村病院

看護婦派遣
の求めに應ず

平町南町
看護婦會
電話三〇七番

梅毒 淋病

皮膚病 婦人病
腸虫病 十二指腸

門專
村松

腸病 胃性病
院醫科 (七〇一話電町南平)

カ、ミ

ガラス

和家具金具
洋家具金具
共濟病院前南町

吉村硝子店

創業廣告

今般時代の趨勢に鑑み合資會社高橋商會
を創業いたし左記營業種目に依り親切第一
主義を以て營業致す事と相成り候間何
卒御利用御用の命御程願申上候

營業種目
燃料、木材
金融、仲立

合資會社 高橋商會
平町白銀町一
代表者 高橋龜松
電話六三八番

セメント
壁用材料
コールター
ペンキ塗料
板ガラス

警城セメント株式會社
代理店 西村屋藥舖
平町二丁目(電三)

藤沼醫院

内科、小兒科、花柳病科

入院需應
平町紺屋町
電話長平五〇七番

婦人女寶圓
子宮妙法湯

主治効能
こしげ、赤血、子宮内膜炎、外膜炎、間質炎、頸管カタル、腔カタル、月經不順、月經痛、子宮痙攣、子宮腫大、子宮出血、淋毒性、子宮病、尿意ひん促、悪臭、さう痒、子宮の下りゆがみ、子宮悪性腫瘍、その他子宮病一切に宜るし

定價表	
女寶圓	一週分三十五圓
女寶圓	二週分七十圓
女寶圓	三週分一百零五圓
女寶圓	四週分一百四十圓
女寶圓	五週分一百七十五圓
女寶圓	六週分二百一十圓
女寶圓	七週分二百四十五圓
女寶圓	八週分二百八十圓
女寶圓	九週分三百一十五圓
女寶圓	十週分三百五十圓
女寶圓	十一週分三百八十五圓
女寶圓	十二週分四百二十圓
女寶圓	十三週分四百五十五圓
女寶圓	十四週分四百九十圓
女寶圓	十五週分五百二十五圓
女寶圓	十六週分五百六十圓
女寶圓	十七週分五百九十五圓
女寶圓	十八週分六百三十圓
女寶圓	十九週分六百六十五圓
女寶圓	二十週分七百圓

久益屋商店

警城セメント會社特約店

警城平町五丁目 電話九番 一三九番

▽良品廉賣、勝る商畧なし△
▽確實敏捷は釜屋の生命なり△

市原醫院

平町田町(電話一一四番)

内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋毒 市原三三男

入院隨時

警城名物

干やなぎ
塩から
御進物に好適
御用命次第
廉價御提供



魚問屋

平町四丁目 丸
市原屋問番一三二話電

特約店
福島縣濱通り代理店
海産物雜穀商
市原商店
平町壹丁目
電話二四四番